



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年10月27日

上場会社名 日東化工株式会社
 コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒川 良平

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 永井 敦

TEL 0467-74-3111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,869	4.9	158	7.8	155	6.1	106	26.0
29年3月期第2四半期	4,068	10.3	171	103.9	165	118.2	143	188.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	27.67	
29年3月期第2四半期	37.37	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	6,458	2,434	37.7	634.34
29年3月期	6,142	2,366	38.5	616.53

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,434百万円 29年3月期 2,366百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		1.00	1.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	5.7	280	11.4	270	11.4	225	32.0	58.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額で記載しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	3,840,000 株	29年3月期	3,840,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,200 株	29年3月期	2,178 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	3,837,815 株	29年3月期2Q	3,837,939 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7
経営概況報告 平成30年3月期第2四半期決算	8
当期の業績予想	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調を維持しているものの、中国をはじめとする新興国の景気減速や欧州経済の低迷、更には北朝鮮の核開発を巡る緊迫した政治情勢など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、売上高につきましては、高機能樹脂コンパウンドでの一部の受託製品終了等により、前年同期比減収となりました。また、利益面におきましても、固定費の削減や原価低減を推進しておりますが、原料及びユーティリティ価格の高騰による影響や、関係会社出資金売却損を計上したことにより、前年同期比減益となりました。

その結果、当期の業績は売上高3,869百万円(前年同期比4.9%減)、営業利益158百万円(前年同期比7.8%減)経常利益155百万円(前年同期比6.1%減)、四半期純利益106百万円(前年同期比26.0%減)となりました。

(セグメント別の状況)

(ゴム事業)

ゴム事業全体の売上高は前年同期を131百万円上回る2,927百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

<ゴムコンパウンド>

自動車関連の受注が堅調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。

<シート・マット>

シートにおきましては受注が堅調に推移し、概ね前年同期並みの売上高となりましたが、マットにおきましてはクッションマットでの受注が低調であったこと、及び前年同期は工事案件でのスポット受注があったことにより、前年同期を下回る売上高となりました。

<成形品>

クッションタイヤの受注が好調に推移したことにより前年同期を上回る売上高となりました。

(樹脂事業)

樹脂事業全体の売上高は、前年同期を323百万円下回る930百万円(前年同期比25.8%減)となりました。

<高機能樹脂コンパウンド>

一部の受託製品が終了したことにより、前年同期を下回る売上高となりました。

<樹脂洗浄剤等>

樹脂洗浄剤および制電性樹脂ECXの受注は堅調に推移したものの、リサイクルナイロンの販売終了により、前年同期を下回る売上高となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は6,458百万円となり、前期末に比べ315百万円増加しました。流動資産は、売上債権が増加したことに加え、当四半期末日が休日であったことから買入債務等の支払いが翌月になった影響により現預金残高が増加したため、前期末に比べ321百万円増加しました。また、固定資産につきましては、設備投資額は増加したものの、関係会社出資金の売却により、前期末に比べ5百万円減少しました。

負債は4,023百万円と、前期末に比べ247百万円増加しました。流動負債は借入金の返済による減少はあるものの、主に当四半期末日が休日であったことから買入債務等の支払いが翌月になった影響等により、前期末に比べ205百万円増加しました。固定負債は、主に借入をしたことにより、前期末に比べ41百万円増加しました。

純資産は2,434百万円と、前期末に比べ68百万円増加しました。これは配当金支払いによる減少はあるものの、主に当第2四半期累計期間における四半期純利益によるものであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、276百万円の収入となり、前年同期に対し49百万円の収入増となりました。これは主に、当四半期末日が休日であったことから買入債務の支払いが翌月になったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは37百万円の支出となり、前年同期に対し48百万円の支出減となりました。これは主に、設備投資による支出が減少したことに加え、関係会社出資金の売却による収入があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、105百万円の支出となり、前年同期に対し209百万円の支出減となりました。これは主に、配当金の支払いはあったものの、借入金の返済額が減少したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は239百万円となり、前年同期末に比べて66百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年4月28日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	106	239
受取手形及び売掛金	2,293	2,463
商品及び製品	223	216
仕掛品	117	138
原材料及び貯蔵品	189	181
その他	104	115
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,035	3,356
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	551	560
機械及び装置(純額)	709	741
土地	1,575	1,575
建設仮勘定	12	28
その他(純額)	98	105
有形固定資産合計	2,947	3,012
無形固定資産		
その他	49	43
無形固定資産合計	49	43
投資その他の資産		
投資有価証券	26	27
関係会社株式	16	16
関係会社出資金	64	-
その他	7	7
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	110	46
固定資産合計	3,107	3,101
資産合計	6,142	6,458
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,142	1,419
短期借入金	1,050	1,030
1年内返済予定の長期借入金	699	612
未払法人税等	25	30
賞与引当金	82	79
その他	408	441
流動負債合計	3,407	3,613
固定負債		
長期借入金	-	40
退職給付引当金	355	353
役員退職慰労引当金	11	15
繰延税金負債	1	1
固定負債合計	368	410
負債合計	3,776	4,023

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金	0	0
利益剰余金	445	513
自己株式	△2	△2
株主資本合計	2,363	2,430
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	3
評価・換算差額等合計	2	3
純資産合計	2,366	2,434
負債純資産合計	6,142	6,458

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	4,068	3,869
売上原価	3,573	3,383
売上総利益	494	485
販売費及び一般管理費	323	327
営業利益	171	158
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	3
事業譲渡益	1	—
未払配当金除斥益	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	4	4
営業外費用		
支払利息	9	7
その他	1	0
営業外費用合計	10	7
経常利益	165	155
特別損失		
固定資産除却損	0	2
関係会社出資金売却損	—	26
特別損失合計	0	28
税引前四半期純利益	165	126
法人税、住民税及び事業税	21	20
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	21	20
四半期純利益	143	106

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	165	126
関係会社出資金売却損	—	26
減価償却費	108	104
固定資産除却損	0	2
事業譲渡益	△1	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△2
受取利息及び受取配当金	△2	△3
支払利息	9	7
売上債権の増減額 (△は増加)	118	△170
たな卸資産の増減額 (△は増加)	221	△5
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	3	△12
仕入債務の増減額 (△は減少)	△281	277
未払費用の増減額 (△は減少)	△34	12
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△51	△68
小計	258	294
利息及び配当金の受取額	2	3
利息の支払額	△9	△7
法人税等の支払額	△24	△14
営業活動によるキャッシュ・フロー	227	276
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△87	△76
固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	—	△0
関係会社出資金の売却による収入	—	38
事業譲渡による収入	1	—
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△38
長期借入金の返済による支出	△141	△107
長期借入れによる収入	—	60
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△174	△20
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△315	△105
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△173	133
現金及び現金同等物の期首残高	347	106
現金及び現金同等物の四半期末残高	173	239

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

1. 株式併合及び単元株式数の変更について

当社は、平成29年5月12日開催の取締役会において、単元株式数の変更を行うことを決議するとともに、平成29年6月22日開催の第90回定時株主総会において株式併合に係る議案を付議し、承認可決されております。この株式併合及び単元株式数の変更は、平成29年10月1日でその効力を発生しております。

なお、1株当たり情報に及ぼす影響につきましては、当該箇所に記載しております。

2. 固定資産の譲渡

当社は平成29年4月28日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を決議しました。

(1) 譲渡の理由

遊休となった固定資産を譲渡し、資産効率の向上及び財務体質の強化を図るものです。

(2) 譲渡する相手会社の名称

譲渡先につきましては、譲渡先の意向により公表を控させていただきます。なお、譲渡先は法人であり、当社との間には、記載すべき資本関係、人的関係及び重要な取引関係はなく、譲渡先は当社の関連当事者にも該当いたしません。

(3) 譲渡資産の内容

資産の内容	樹脂製品製造設備
所在地	神奈川県高座郡寒川町
譲渡価額	30百万円
帳簿価額	1百万円
譲渡益	20百万円

(注) 譲渡益は、譲渡に係る諸費用等を控除した額を記載しております。

(4) 譲渡日

平成29年10月21日

※当社は、譲渡先との間で、平成29年9月30日付で樹脂製品製造設備を引渡す予定で手続きを進めておりましたが、最終的な手続きの完了に至らず、平成29年10月21日付での引渡しとなりました。

(5) 当該事象の損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡により、平成30年3月期第3四半期において固定資産売却益20百万円を特別利益として計上いたします。

経営概況報告

平成29年10月
日東化工株式会社

平成30年3月期第2四半期決算

(単位:百万円:切捨表示)

	当第2四半期	前第2四半期	差 異	伸び率 %
売 上 高	3,869	4,068	△ 199	△ 4.9
営 業 利 益	158	171	△ 13	△ 7.8
経 常 利 益	155	165	△ 10	△ 6.1
特 別 損 益	△ 28	0	△ 28	-
当 期 利 益	106	143	△ 37	△ 26.0

(売上高比較)

(単位:百万円、切捨表示)

事 業 別		当第2四半期	前第2四半期	差 異	伸び率 %
ゴ ム 事 業	コンパウンド	1,511	1,413	97	6.9
	シート・マット	658	715	△ 57	△ 8.0
	成形品	758	667	90	13.6
	計	2,927	2,796	131	4.7
樹 脂 事 業	高機能樹脂コンパウンド*	651	964	△ 312	△ 32.4
	樹脂洗浄剤等	279	289	△ 10	△ 3.7
	計	930	1,254	△ 323	△ 25.8
その他		10	18	△ 7	△ 40.2
合 計		3,869	4,068	△ 199	△ 4.9

総資産 6,458 6,140

ROA 4.9% 5.1% 経常利益/総資産(期首・期末平均)

決算等概況説明資料(2/2)

当期の業績予想

日東化工株式会社

(1) 損益

(単位:百万円、切捨表示)

	29年度	28年度	差異	伸び率%
売上高	7,500	7,949	△ 449	△ 5.7
営業利益	280	315	△ 35	△ 11.4
経常利益	270	304	△ 34	△ 11.4
特別損益	△ 10	52	△ 62	-
当期利益	225	330	△ 105	△ 32.0
総資産	6,300	6,142		
ROA	4.3%	4.7%		

(2) 売上高

(単位:百万円、切捨表示)

事業別		29年度	28年度	差異	伸び率%
ゴム事業	コンパウンド	2,900	2,830	70	2.5
	シート・マット	1,350	1,503	△ 153	△ 10.2
	成形品	1,400	1,407	△ 7	△ 0.5
	計	5,650	5,741	△ 91	△ 1.6
樹脂事業	高機能樹脂コンパウンド	1,280	1,602	△ 322	△ 20.1
	樹脂洗浄剤等	550	576	△ 26	△ 4.5
	計	1,830	2,178	△ 348	△ 16.0
その他		20	29	△ 9	△ 31.0
合計		7,500	7,949	△ 449	△ 5.7